



「元始、女性は実に太陽であった。」の巻頭の辞とともに創刊された
女たちの手による女のための文芸雑誌「青鞥」。

激動の大正時代を駆け抜けた男女を描いた、宮本研の代表作に
20代の研修生が3年間の研修生活の集大成として向き合います。

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 演劇研修所 演劇研修係 高瀬・大島・柴田

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 / Email: dramastudio@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研修所ウェブサイト

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



[@nnt.dramastudio.tokyo](https://www.facebook.com/nnt.dramastudio.tokyo)



[@nnt_dramastudio](https://twitter.com/nnt_dramastudio)

NNY
ドラマ・スタジオ



新国立劇場

【公演概要】

第16期生が、朗読劇『ひめゆり』、試演会『燃ゆる暗闇にて』を経て、いよいよ修了公演に臨みます。研修生活3年間の集大成として挑む作品は、宮本研 作『ブルーストッキングの女たち』です。

「元始、女性は実に太陽であった」という巻頭の辞を掲げ創刊された、女性による女性のための文芸誌「青鞥」。本作は、青鞥社が結社した翌年、大正元年から関東大震災が起きた大正12年までの大正モダニズムの時代精神を描いた作者の代表作のひとつです。

時流に迎合することなく女性解放運動をリードした、平塚らいてう、伊藤野枝をはじめとする青鞥社の女性たち、彼女たちを取り巻く大杉栄、荒畑寒村といった社会運動の先導者のほか、日本演劇史のキーパーソンである島村抱月、松井須磨子など、大正デモクラシーの論壇を彩った実在の人物が多数登場します。

今年は関東大震災の発生から100年にあたる年です。20代の若者たちが、社会のあり方に真剣に向き合い、自由な生き方を必死に求め続け、そして恋愛にも貪欲に懸命に生き抜いた様子を、同世代の研修生たちが等身大で演じます。

新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年春に入所した第16期生は、研修当初から授業がオンラインになり、常時マスクを着用して研修・稽古を行うなど、制限された研修生活を送ってきました。その中でもひたむきに研鑽を積み、いよいよプロの俳優としての第一歩を踏み出そうとする彼らの渾身の舞台を、2012年（第6期生）試演会でも同作を手がけた演劇研修所長・宮田慶子による演出で、どうぞご覧ください。

★絶賛、稽古進行中！



【ものがたり】

「青鞥」創刊の翌 1912 年、編集長の平塚らいてうを慕う伊藤野枝が九州から上京してくる。同じころ、無政府主義者の大杉栄は「平民新聞」を創刊し、研究会や座談会を開きながら活動を続けていた。野枝は女学校で出会った英語教師 辻潤との間に子どもをもうけるが、らいてうから「青鞥」を譲り受け、その家庭生活は崩れていく。やがて野枝は、「近代思想」を復刊した大杉と接近し、二人は次第に仕事のパートナー、同志として深い仲となっていく……。

【スタッフ】



作：宮本 研 (みやもと・けん)

劇作家(1926-1988)

熊本県出身。九州大学卒業後、高校教員を経て法務省に入省。職場演劇サークル「麦の会」を発足、劇作・演出活動を始める。1962 年法務省退職後は劇作に専念。『日本人民共和国』、『メカニズム作戦』により第 8 回岸田國士戯曲賞受賞。他に『明治の樞』、『美しきものの伝説』、『阿Q外傳』、『聖グレゴリーの殉教』の「革命伝説四部作」をはじめ、『反応工程』、『ザ・パイロット』、『夢・桃中軒牛右衛門の』、『からゆきさん』、『花いちもんめ』など。



演出：宮田慶子 (みやた・けいこ)

演出家

劇団青年座所属。翻訳劇、創作劇、ミュージカル、オペラと多方面にわたる作品を手がけ、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流にも積極的に取り組む。日本演出者協会副理事長、(公社)日本劇団協議会常務理事。2010 年～18 年新国立劇場演劇芸術監督をつとめ、『ヘッダ・ガーブレル』、『わが町』、『おどくみ』、『朱雀家の滅亡』、『負傷者 16 人—SIXTEEN WOUNDED—』、『るつぼ』、『長い墓標の列』、『つく、きえる』、『永遠の一瞬—Time Stands Still—』、『三文オペラ』、『海の夫人』、『パッション』、『月・こうこう、風・そうそう』、『君が人生の時』、『プライムたちの夜』、『消えていくなら朝』、また、オペラ『沈黙』(12・15 年)を演出。

16 年 4 月より新国立劇場演劇研修所長。所長としての演出作品に『MOTHER—君わらひたまふことなかれ』、『美しい日々』、『るつぼ』、『社会の柱』、『マニラ瑞穂記』、『理想の夫』。

【キャスト】

新国立劇場演劇研修所 第16期生

			
伊海 実紗 いかい みさ	越後 静月 えちご しづき	岸 朱紗 きし あかしゃ	笹原 翔太 ささはら しょうた
			
都築 亮介 つづき りょうすけ	藤原 弥生 ふじわら やよい	松尾 諒 まつお りょう	宮津 侑生 みやづ ゆうき
			
安森 尚 やすもり なお	米山 千陽 よねやま ちひろ		

新国立劇場演劇研修所 修了生

		
西岡 未央 にしおか みお 第8期 (2015年修了)	草薨 智文 くさなぎ ともふみ 第9期 (2016年修了)	大久保 眞希 おおくぼ まき 第13期 (2020年修了)

【公演概要】

新国立劇場演劇研修所 第16期生修了公演 『ブルーストッキングの女たち』

作： 宮本 研
演出：宮田慶子

美術：池田ともゆき
照明：三澤裕史
音響：信澤祐介
衣裳：半田悦子
演出助手：草薨智文（第9期修了）
舞台監督：川原清徳

出演：新国立劇場演劇研修所 第16期生
伊海実紗 越後静月 岸 朱紗 笹原翔太 都築亮介
藤原弥生 松尾諒 宮津侑生 安森尚 米山千陽
西岡未央（第8期修了） 草薨智文（第9期修了） 大久保真希（第13期修了）

演劇研修所長：宮田慶子
主催・制作：新国立劇場

NEW NATIONAL THEATRE TOKYO
新国立劇場開場 25周年
25th ANNIVERSARY

会場：新国立劇場小劇場

公演日程： 2023年 2月 24日（金）18：30 25日（土）14：00
26日（日）14：00 28日（火）18：30
3月 1日（水）14：00 2日（木）14：00

チケット料金：A席=3,300円 B席=2,750円
ジュニア席（小～中学生）・学生席=1,000円（10%税込）

Z席（当日券）=1,650円

*クラブ・ジ・アトレ会員ほか、各種割引はありません。

*ジュニア席は入場時に年齢が確認できる証明書の提示をお願いする場合がございます。

*学生席はボックスオフィス（窓口・電話）および公演ウェブサイト上フォームにて取り扱います。お引き取りの際には、学生証が必要です。

一般発売：2023年1月14日（土）10:00～現在販売中

Z席の購入方法

Z席は、公演当日朝10:00から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。電話での予約は承れません。

学生席のご案内

学生席はボックスオフィス（窓口・電話）および公演ウェブサイト上フォームにて取り扱います。

お引き取りの際には、学生証をご提示ください。

>学生券お申し込みフォーム：<https://onl.sc/3agJGcb>

【チケットのご予約・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

※新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い※
https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

【新国立劇場 演劇研修所について】

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005年に設立されました。研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の仕事など、活躍の場を広げています。

本公演に出演する第16期生は、2020年4月に入所。3年次である今年度、朗読劇『ひめゆり』を新国立劇場、パルテノン多摩、国立劇場おきなわで上演。10月の試演会では、現代スペイン演劇の第一人者A.B.バリェホ作の、盲学校を舞台にした『燃ゆる暗闇にて』で各々が鮮烈なキャラクターの造形に挑戦しました。

舞台での実践的な経験や、演劇を通じたアウトリーチプログラムなど、「演じる」ことにどっぷりと浸かる3年間を送った彼らは、国内外で活躍するプロの俳優への道をまもなく踏み出します。今後の出演公演、そして幅広い活躍に、どうぞご期待ください。

◆授業風景◆



アクション



海外招聘講師による授業



シーンスタディ

◆第16期生 これまでの舞台・活動◆



2022年8-9月
朗読劇『ひめゆり』



2022年10月
試演会『燃ゆる暗闇にて』



2022年11月
アウトリーチ活動(オンライン開催)

<演劇研修所修了生の主な舞台出演>

新国立劇場『レオポルトシュタット』
CEDAR×僕たち私たち『The Birthday Party』
世田谷パブリックシアター『夏の砂の上』
こまつ座『イヌの仇討』
KAAT 神奈川芸術劇場『ライカムで待っとく』
新国立劇場『夜明けの寄り鯨』
ホリプロ ミュージカル『バンズ・ヴィジット』

浅野令子(第1期修了)、椎名一浩(第11期修了)
松田佳央理(第15期修了)
深谷美歩(第2期生)
薄平広樹(第8期生)
前田一世(第1期生)、南里双六(第3期生)
森川由樹(第6期生)、岡崎さつき(第9期生)、阿岐之 将一(第10期生)
山崎 薫(第5期生)

<主なテレビ出演>

NHK 大河ドラマ『鎌倉殿の13人』
日本テレビ『ファーストペンギン!』

岩男海史(第10期生)、大西 遵(第14期生)
吉田健悟(第7期生)、加部アカネ(第14期生)

演劇研修所修了生の出演情報：<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/graduate/info/>